NEC
はじめにお読みください

Express5800/R120b-2

Startup Guide
スタートアップガイド

2011 年 10 月 第 2 版

＊ 8 5 5 - 9 1 0 9 4 4 - 0 6 1 - 0 1 ＊

箱を開けてから本製品が使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

⚠ 安全に関するご注意

セットアップする前に「使用上のご注意」または「ユーザーズガイド」の以下の項をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

「安全にかかわる表示について」
「使用上のご注意 ～必ずお読みください～」

⚠ 警　告

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 内蔵型オプションの取り付け・取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。
- 雷が鳴り出したらケーブル類を含め本体に触らないでください。落雷による感電のおそれがあります。
- 「ユーザーズガイド」に記載されている内容を除き、分解・修理・改造を行わないでください。

⚠ 注　意

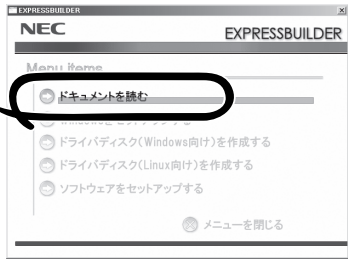
- 持ち運びの際は本体の底面をしっかりと持って運んでください。
- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 装置に添付されている電源コード以外を使用しないでください。
- 電源コードは指定された電圧でアース付のコンセントに接続してください。
- 電源コードはたこ足配線にしないでください。

ユーザーズガイドについて

ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」DVDの中に格納されています。ユーザーズガイドはAdobe® Reader™で閲覧できるPDFファイルで、以下の手順で表示・印刷することができます。

① Adobe Readerがインストールされているコンピュータの電源をONにする。

② 添付の「EXPRESSBUILDER」DVDをコンピュータの光ディスクドライブにセットする。
オートラン機能により自動的にメニューが起動します。
セットしたタイミングによっては、自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、セットした光ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

③ 「オートランメニュー」の「ドキュメントを読む」をクリックする。

ヒント　DVD媒体読み込み機能のないコンピュータで閲覧したい場合は、ユーザーズガイドの3章「DVD媒体読み込み機能のない管理PCを使用したいとき」を参照してください。

ユーザーズガイドでは、本製品を安全に取り扱うための注意事項やStartup Guideでは記載されていないセットアップに関する詳細な説明、運用やアップグレードに関する説明が記載されています。また、「故障かな？」と思ったときのトラブル回避の手だてやサービスに関する情報も記載されています。本製品を取り扱う前にぜひお読みください。

PDFファイルを閲覧するためには、Adobe Readerの日本語版が必要です。Adobe Readerはアドビ社のWebサイトから無償でダウンロードすることができます

（http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readstep2.html
またユーザーズガイドは、NECのWebサイトからダウンロードすることもできます[PCサーバ　サポート情報]
http://support.express.nec.co.jp/pcserver/をクリックしてください)。

Step 1　添付品を確認する

- 本体
- 電源コード×1
- フロントベゼル
- セキュリティキー
（フロントベゼルに貼り付けられています）
- 内蔵バックアップデバイス
固定用ネジ×6
- スライドレール（アウターレール）取り外し工具
- SAS/SATAケーブル（RAIDコントローラ未実装時）
- EXPRESSBUILDERパッケージ*2
- 保証書
（本体梱包箱に貼り付けられています）
- 使用上のご注意
- ユーザーズガイド*1
- スタートアップガイド（本書）

- **添付の「EXPRESSBUILDER」DVDは、セットアップ（または再セットアップ）の時に必要となりますので大切に保管しておいてください。**
- **上記添付品は、本体のみのものです。スタートアップパックやBTO（工場組み込み出荷）製品などは「組み込み製品・添付品リスト」をご確認ください。**

*1　ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」DVD内に格納されています。これを参照するには、Adobe Readerが必要となりますので、あらかじめご使用のPCへインストールしておいてください。

*2　EXPRESSBUILDERパッケージの内容についてはEXPRESSBUILDER内の添付品一覧を参照してください。

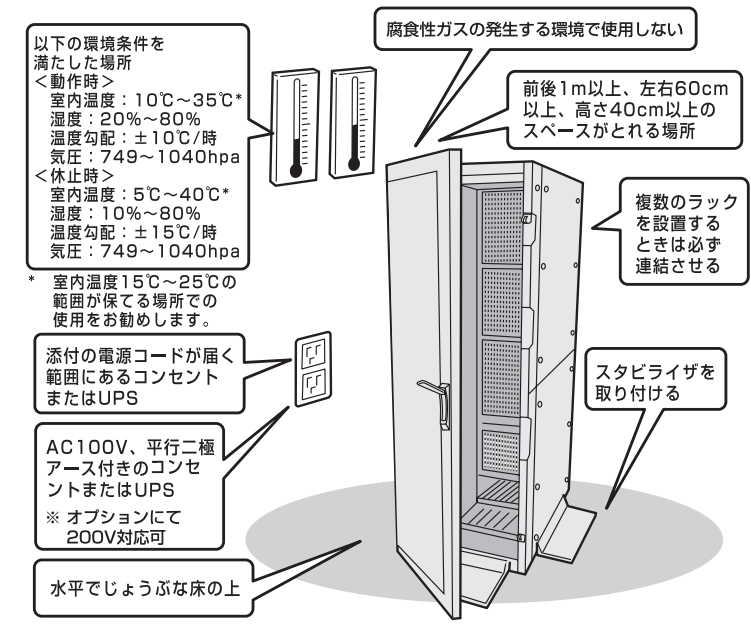
Step 2　内蔵オプションを取り付ける

本体内蔵用のオプションを取り付けます（オプションを購入していない場合や「BTO（工場組み込み出荷）」で本製品を購入されたお客様はステップ3へ進んでください）。

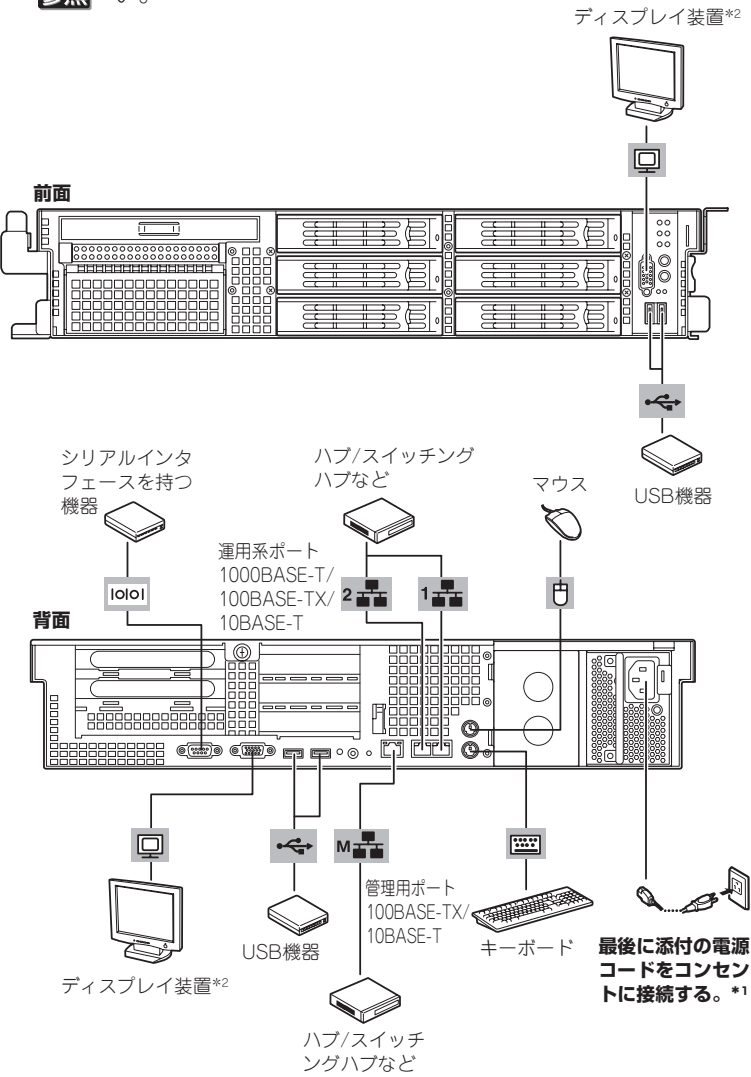
「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。また、インストールするOSによっては、一部ハードウェアの制限があります（BTOモデルを除く）。「ユーザーズガイド」の「導入編」を参照して注意事項を確認してください。

Step 3　ラックを設置して本製品を取り付ける

本体はEIA規格に適合した19型（インチ）ラックに設置して使用します。ラックへの設置について、次の条件を守ってください。

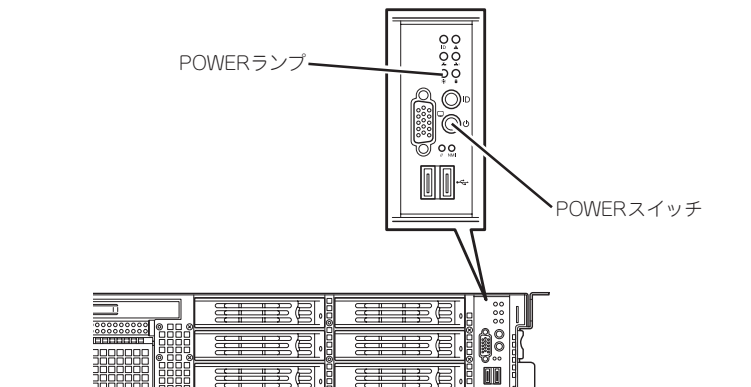
ラックの設置および本体のラックへの設置については「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。

Step 4　ケーブルを接続する

ケーブルを本体に接続します。

「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。

*1　電源コードは、15A以下のサーキットブレーカに接続すること。
*2　前面と背面で排他。

Step 5　電源をONにする

前面のPOWERスイッチを押して電源をONにします。

Step 6に示す手順を行う必要のない場合は、電源をONにする前にStep 7をご覧ください。お買い求めになられたモデルによっては、電源のON後、すぐにシステムのセットアッププログラムが起動したり、添付の「EXPRESSBUILDER」DVDを使ってセットアッププログラムを起動しなければならない場合があります。

Step 6　BIOSの設定を変更する

ご使用になる環境に合わせてBIOS（Basic Input Output System）の設定を変更します。

操作方法や設定の詳細については「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください（日付や時間が正しく設定されていることを確認してください）。

システムBIOSの設定変更

オプションのUPS（無停電電源装置）を接続している場合や、管理ソフトウェアとの機能の連携をする場合にシステムBIOSの設定を変更します（通常は出荷時の状態でも問題ありません）。設定を変更するためにBIOSセットアップユーティリティ「SETUP」を起動します。

① **電源をONにした後、「NEC」ロゴが画面に表示されたら、<Esc>キーを押す。**

② **次に示す起動メッセージが画面に表示されるまで待つ。**

③ **<F2>キーを押す。**
「SETUP」ユーティリティが起動します。

RAIDシステムのコンフィグレーションユーティリティの設定変更

RAIDシステムのコンフィグレーションユーティリティの起動メッセージが表示されますが、特に設定を変更する必要はありません。

重要　**RAIDシステムの設定を変更するとハードディスクドライブ内のデータを消失することがあります。「ユーザーズガイド」を参照して十分注意をしながら操作してください。**

＊ モデルにより使用するコンフィグレーションユーティリティは異なります。詳しくはユーザーズガイドを参照してください。

オプションボードのBIOSの設定変更

オプションのSCSIコントローラなどを搭載している場合は、設定を変更するコンフィグレーションユーティリティの起動メッセージが表示されます。オプションボードに添付の説明書を参照して正しく設定してください。

Step 7　OSをセットアップする

オペレーティングシステムのセットアップをします。

<Windows>

OSがインストール済みのモデルで初めて電源をONにする場合

本体の電源をONにするとWindowsのセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って必要な設定をしてください。

OSがインストールされていないモデルの場合・再インストールの場合

インストールには、添付の「EXPRESSBUILDER」DVDを使います。

Windows Server 2008 R2やWindows Server 2008、Windows Server 2003をご使用の場合は、シームレスセットアップを使用してセットアップすることをお勧めします。

① **本体の電源をONにする。**

② **「EXPRESSBUILDER」DVDを本体の光ディスクドライブにセットする。**

③ **<Ctrl>キーと<Alt>キーを押しながら<Delete>キーを押して再起動する。**
DVD-ROMからEXPRESSBUILDERが起動します。

④ **[シームレスセットアップを実行する]を選択し、[次へ]をクリックする。**

裏面につづく

⑤ パラメータファイルを使用する場合は、パラメータをロードする。

[既存のパラメータファイルを使用しない場合]

「パラメータをロードしない」を選択して、[次へ]をクリックする。以降は、各画面の指示にしたがって必要なパラメータを入力してください。

[既存のパラメータファイルを使用する場合]

「パラメータをロードする」を選択し、パラメータファイルのパスをボックスへ入力する。この後、ウィザード上でファイルからロードされたパラメータファイルを確認する場合は[次へ]を、確認しないでそのままインストールの場合は[スキップする]をクリックする。

⑥ 「自動インストールの開始」画面で[実行する]をクリックする。

以降はメッセージにしたがってください。

手順⑤でパラメータファイルを使用してセットアップする場合は、ファイル保存用として1.44MBフォーマット済みの空きフロッピーディスクを1枚ご用意ください。また、作成したフロッピーディスクは、EXPRESSBUILDERと一緒に保管しておいてください。再セットアップの際にこのフロッピーディスクを使用すれば、パラメータの入力を省略することができます。

- **装置に添付のEXPRESSBUILDERに対応していない大容量記憶装置コントローラに接続されたハードディスクドライブへインストールする場合は、「ユーザーズガイド」の「導入編」－「応用セットアップ」を参照してください。対応コントローラの確認は、コントローラに添付のセットアップ手順書またはユーザーズガイドを参照してください。**
- **Windows Server 2003 x64 Editionsをインストールする場合は、インストレーションサプリメントガイドを参照して「マニュアルセットアップ」を行ってください。**
- **本製品にはフロッピーディスクドライブが搭載されていません。別売のUSBフロッピーディスクドライブを必要に応じて用意してください。**

<Linux®>

OSがインストール済みのモデルで初めて電源をONにする場合

本体の電源をONにするとインストール済みのOSが起動します。続けて添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されている「ユーザーズガイド」の「Linuxの初期導入設定」を参照し、Linuxの初期導入設定を行ってください。

OSが未インストールの場合・再インストールの場合

添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されている「ユーザーズガイド」の「Linuxのセットアップ」を参照し、「シームレスセットアップ」または「マニュアルセットアップ」を行ってください。

- **Red Hat Enterprise Linux 6 Serverをインストールする場合は、「マニュアルセットアップ」を行ってください(シームレスセットアップはサポートしていません)。**
- **Red Hat Enterprise Linux 5 ServerまたはRed Hat Enterprise Linux 4のインストールを行う場合、セットアップ時にドライバディスクを作成する必要があります。別途ドライバディスク用に空きフロッピーディスクを1枚またはFlash FDDを1本ご用意ください。**
- **本製品にはフロッピーディスクドライブが搭載されていません。フロッピーディスクを使用する場合、別途USBフロッピーディスクドライブをご用意ください。**

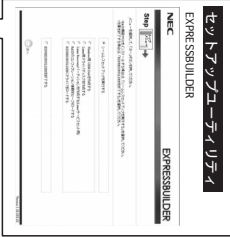
障害処理のためのセットアップ

本装置内のメモリダンプ(デバッグ情報)を採取するための設定方法について説明します。詳細やその他の設定については、「ユーザーズガイド」の「導入編」－「障害処理のためのセットアップ」をご覧ください。

Step 8 EXPRESSBUILDERを使ったセットアップをする

「EXPRESSBUILDER」DVDには、セットアップツールのほかに、サーバ管理用のソフトウェアが格納されています。これらを活用することで、TCO(Total Cost of Ownership)の削減、システムダウンの防止、または故障からの早期復旧を図ることができます。ここでは、それらを含めた「EXPRESSBUILDER」DVDの内容について紹介しています。

参照 「ユーザーズガイド」の「ソフトウェア編」またはオンラインドキュメントを参照してインストールやセットアップをしてください。ここで記載されていないユーティリティについては、ユーザーズガイドまたはオンラインドキュメントで説明しています。

「エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)」は、お客様とNECをひとつに結び、安心・充実した運用と各種サポートを提供するユーティリティです。NECが提供するサポートサービス体系「iBestSolutionsシステムサポートサービス」の基礎となるものであり、「ESMPRO/ServerAgent」が検出したトラブルやその兆候が現れた際にインターネットや公衆回線を介して「監視センター」に通報します。これを受け、「監視センター」は、全国430カ所以上にあるNECフィールディングの保守サービス拠点のうち、もよりの拠点に指示を出し、サービスエンジニアがユーザー先へ出向いてトラブルの未然回避や復旧処置を行います。なお、ご利用に際しては、別途有償のハードウェア保守契約か、通報サービス契約が必要です。

OSの再インストール(シームレスセットアップ)やシステムの診断、各種OEM-Diskの作成などExpress5800シリーズのシステムを構築するためのセットアップユーティリティ。

装置のファームウェアやソフトウェアなどのバージョンの管理や、更新を行うユーティリティです。ESMPRO/ServerManagerによって、自動的にダウンロードした装置の更新パッケージを、システムを停止せずに簡単に適用できます。

重要 ExpressUpdateに未対応のファームウェアまたはソフトウェアの更新パッケージが提供される事があります。これらの更新パッケージの適用に関してはNEC コーポレートサイトを参照してください。

「シームレスセットアップ」で使用する「パラメータファイル」を作成するWindowsベースのユーティリティ。

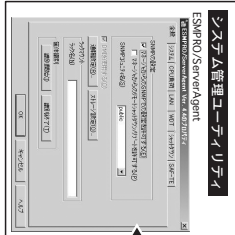
Windowsベースの各種ユーティリティのインストールからセットアップや保守の際に使用するOEM-Diskの作成などをナビゲートする統合支援ツール。ユーザーズマニュアルなどのドキュメントの閲覧もできます。

装置をリモート管理するためのユーティリティ。

ネットワーク上に分散したサーバを効率よく管理できるGUIを提供するユーティリティ。

－装置のさまざまな障害情報を収集し、状態の判定を行い異常を検出すると、ESMPRO/ServerManagerへアラート通報を行います。

－障害の予防対策として、事前に障害の発生を予測する予防保守機能をサポートしています。筐体内温度上昇やハードディスクドライブ劣化などを事前に検出できます。

－装置の詳細なハードウェア構成情報、性能情報を取得できます。取得した情報はESMPRO/ServerManagerを通してどこからでも参照できます。

ESMPROはサーバシステムの安定稼動と、効率的なシステム運用を目的としたサーバ管理ソフトウェアです。本製品を導入することにより、装置の構成情報・性能情報・障害情報をリアルタイムに取得・管理・監視できるほか、アラート通報機能により障害の発生を即座に知ることができるようになります。

EXPRESSBUILDERについて

本装置の光ディスクドライブに「EXPRESSBUILDER」DVDをセットして起動すると、以下のメニューが起動します。

```
Boot selection

Os installation***default***.............①
Tool menu(Normal mode)...................②
Tool menu(Redirection mode)..............③
```

① Os installation

本項目を選択すると、EXPRESSBUILDERトップメニューが表示されます。

② Tool menu(Normal mode)

本項目を選択すると、表示言語の選択の後、ツールメニューが起動します。

③ Tool menu(Redirection mode)

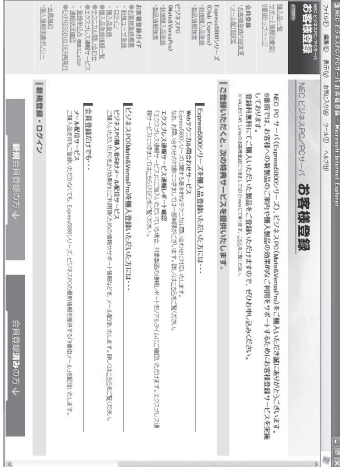
本項目は、BIOSコンソールリダイレクション機能を使用して、コンソールレスにて操作する場合にのみ選択してください。

詳しくはユーザーズガイドの「ソフトウェア編」を参照してください。
また、Windows PCにセットすると「オートランメニュー」を表示します。このメニューから各種バンドルソフトウェアのインストールや、オンラインドキュメントを参照することができます。

Step 9 お客様登録をする

添付の「お客様登録申込書」またはインターネット(WWW)を利用して登録を行います。

添付の「お客様登録申込書」に必要事項を記入の上、「エクスプレス受付センター」までご返送ください。返送していただいたお客様は、「ClubExpress会員」に登録させていただきます。「ClubExpress会員」は、インターネットからも登録手続きが行えます。

http://club.express.nec.co.jp

また、Express5800シリーズをはじめとするさまざまな製品の情報は以下のインターネット情報サイトにあります。ご覧ください。

[NEC コーポレートサイト]　http://www.nec.co.jp/

以上でExpress5800シリーズのセットアップは完了です。ご利用の環境に合わせてその他使用するアプリケーションのインストールとセットアップをしてください。Express5800シリーズを末永くご利用ください。

Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。
(電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター　TEL. 03-3455-5800(代表)

受付時間 ／ 9:00～12:00、13:00～17:00　月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

サービスパックの適用について

本装置にサービスパック(SP)を適用する場合、適用方法はSPの添付状況により異なりますので、ユーザーズガイドの導入編またはNEC コーポレートサイト「http://www.nec.co.jp/」を参照してください。
また、Windows Server 2003 Service Pack 2を適用する場合は「システムのアップデート」を行ってください。装置に「NEC Express5800シリーズ Windows® Server 2003 RUR CD-ROM」が添付されている場合がありますが、使用せず破棄するか、装置に添付されているほかの媒体と異なった場所に保管してください。通常、ご使用になられても次のようなメッセージが表示され、セットアップが続行できませんが、メッセージが表示されず適用された場合は、再度「EXPRESSBUILDER」DVDから「システムのアップデート」を行ってください。このときサービスパックを再適用する必要はありません。

> セットアップメッセージ
> このWindows RURは、この装置には対応していません。
> ご使用の装置を確認してください。

商標について

EXPRESSBUILDERとExpressPicnic、ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftおよびWindows、Windows Server、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。Red Hat、Red Hat Enterprise Linuxは、米国Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

© NEC Corporation 2011
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。